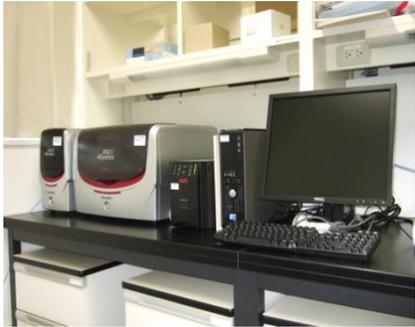
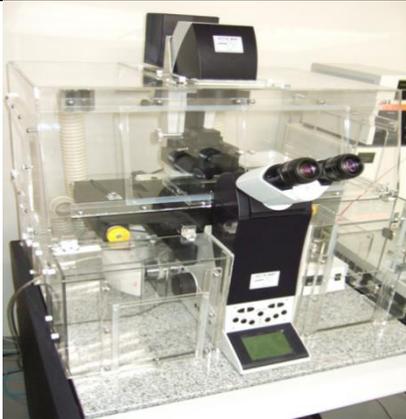


事業者名	公益財団法人がん研究会			
機器名	細胞外フラックスアナライザー			
設備 写真				
設置場所	研究棟(がん化学療法センター425実験室)			
機器の特徴・用途 (研究対象の難病)	細胞内の代謝測定を迅速に行うために用いる。骨髄線維症、原発性アルドステロン症、不応性貧血、特発性間質性肺炎、潰瘍性大腸炎、アミノロイドーシス、多発性筋炎、皮膚筋炎、ランゲルハンス細胞組織球症、神経繊維腫症 I 型 II 型、色素性乾皮症に関連した癌の治療に関する基礎的研究に用いている。			
利用状況	年月	稼働 日数 (日)	利用 回数 (回)	主な利用内容
	平成 24 年 1 月			—
	平成 24 年 2 月	10	20	がん細胞の代謝測定に用いた。
	平成 24 年 3 月	6	18	がん細胞の代謝測定に用いた。
	平成 24 年 4 月	12	24	がん細胞の代謝測定に用いた。
	平成 24 年 5 月	6	12	がん細胞の代謝測定に用いた。
	平成 24 年 6 月	13	26	がん細胞の代謝測定に用いた。
	平成 24 年 7 月	7	13	がん細胞の代謝測定に用いた。
	平成 24 年 8 月	1	2	がん細胞の代謝測定に用いた。
	平成 24 年 9 月			測定値の整理と検討を行った。
	平成 24 年 10 月	12	21	がん細胞の代謝測定に用いた。
	平成 24 年 11 月	9	14	がん細胞の代謝測定に用いた。
	平成 24 年 12 月	1	1	がん細胞の代謝測定に用いた。
計	77	151		
補助事業概要 の広報資料	http://ringring-keirin.jp/shinsei/document/list/koueki/h23/pdf/23-1-082.pdf			
事業者 HP	http://www.jfcr.or.jp/ http://www.jfcr.or.jp/donation/business.html			

事業者名	公益財団法人がん研究会			
機器名	パーソナルマイクロレイシステム			
設備写真				
設置場所	研究棟(がん研究所316実験室)			
機器の特徴・用途 (研究対象の難病)	遺伝子発現解析を迅速かつ簡便に行うために用いる。骨髄線維症、原発性アルドステロン症、不応性貧血、特発性間質性肺炎、潰瘍性大腸炎、アミノロイドーシス、多発性筋炎、皮膚筋炎、ランゲルハンス細胞組織球症、神経繊維腫症Ⅰ型Ⅱ型、色素性乾皮症に関連した癌の治療に関する基礎的研究に用いている。			
利用状況	年月	稼働日数(日)	利用回数(回)	主な利用内容
	平成24年1月			—
	平成24年2月	3	6	がん遺伝子発現プロファイルを網羅的に捉えるために用いた。
	平成24年3月	6	12	がん遺伝子発現プロファイルを網羅的に捉えるために用いた。
	平成24年4月	4	8	がん遺伝子発現プロファイルを網羅的に捉えるために用いた。
	平成24年5月	3	6	がん遺伝子発現プロファイルを網羅的に捉えるために用いた。
	平成24年6月	5	10	がん遺伝子発現プロファイルを網羅的に捉えるために用いた。
	平成24年7月	4	4	がん遺伝子発現プロファイルを網羅的に捉えるために用いた。
	平成24年8月	3	6	がん遺伝子発現プロファイルを網羅的に捉えるために用いた。
	平成24年9月	6	8	がん遺伝子発現プロファイルを網羅的に捉えるために用いた。
	平成24年10月	3	7	がん遺伝子発現プロファイルを網羅的に捉えるために用いた。
	平成24年11月	5	5	がん遺伝子発現プロファイルを網羅的に捉えるために用いた。
	平成24年12月	5	6	がん遺伝子発現プロファイルを網羅的に捉えるために用いた。
	計	47	78	
補助事業概要の広報資料	http://ringring-keirin.jp/shinsei/document/list/koueki/h23/pdf/23-1-082.pdf			
事業者HP	http://www.jfcr.or.jp/ http://www.jfcr.or.jp/donation/business.html			

事業者名	公益財団法人がん研究会			
機器名	顕微鏡オートフォーカスコントローラー			
設備 写真				
設置場所	研究棟(がん研究所212解析室)			
機器の特徴・用途 (研究対象の難病)	顕微鏡オートフォーカスコントローラーは生きた細胞を観察・記録して細胞の動態や薬物反応性を解析するために用いる。骨髄繊維症、原発性アルドステロン症、不応性貧血、特発性間質性肺炎、潰瘍性大腸炎、アミノロイドーシス、多発性筋炎、皮膚筋炎、ランゲルハンス細胞組織球症、神経繊維腫症Ⅰ型Ⅱ型、色素性乾皮症に関連した癌の治療に関する基礎的研究に用いている。			
利用状況	年月	稼働 日数 (日)	利用 回数 (回)	主な利用内容
	平成 24 年 1 月			—
	平成 24 年 2 月	2	1	がん細胞の動態観察に使用した。
	平成 24 年 3 月	3	1	がん細胞の動態観察に使用した。
	平成 24 年 4 月	3	1	がん細胞の動態観察に使用した。
	平成 24 年 5 月	3	1	がん細胞の動態観察に使用した。
	平成 24 年 6 月	3	1	がん細胞の動態観察に使用した。
	平成 24 年 7 月	2	1	がん細胞の動態観察に使用した。
	平成 24 年 8 月	3	1	がん細胞の動態観察に使用した。
	平成 24 年 9 月	1	1	がん細胞の動態観察に使用した。
	平成 24 年 10 月			動態観察記録の整理と検討を行った。
	平成 24 年 11 月	4	1	がん細胞の動態観察に使用した。
	平成 24 年 12 月	3	1	がん細胞の動態観察に使用した。
計	27	10		
補助事業概要 の広報資料	http://ringring-keirin.jp/shinsei/document/list/koueki/h23/pdf/23-1-082.pdf			
事業者 HP	http://www.jfcr.or.jp/ http://www.jfcr.or.jp/donation/business.html			